

潜在意識に刻印すれば思いは実現する「潜在力」の法則

12. 「バカの壁」より「心の壁」を打ち破ろう

人間も象と同じ「エレファント症候群」に要注意。

「バカの壁」という言葉が流行しています。バカの壁が知的活動の障害になっているのは同名書籍の著者、養老孟司氏が指摘したとおりですが、「バカの壁」よりももっと手強い壁があることをご存知でしょうか。

それは「心の壁」、メンタル・ブロックというものです。

インドでは象を捕獲したとき、その象を調教するため、初めに頑丈な竹につながります。象はなんとか竹を引き倒そうと苦戦しますが、それが無駄だとわかるとあきらめて、抵抗することをやめてしまいます。その後は、地面に小さな杭を打つだけで、象をつないでおくことができるのです。象の内面に「どんなことをしても逃げられない」という「心の壁」ができるため、こうした心理は「エレファント症候群」と呼ばれています。私たち人間も同じです。

「心の壁」、メンタル・ブロックがあると、目標を設定し、達成しようと努力しても思うようにいきません。“どうせダメだ” “うまくいくはずがない”と「心の壁」が邪魔をするからなのです。

目標達成をはばむ「心の壁」

捕獲された「象」が頑丈な竹の杭につながれると

「どうせダメだ」 「うまくいくはずがない」

とあきらめてしまう。

否定的な考え方が小さな杭を抜けなくする。

マーフィーの言葉

地位を失うのではないかというおびえが、そのような状況を作り出す。

きこ書房

マーフィー「お金」と「幸せ」の法則 ジョセフ・マーフィー・インスティテュート編